



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 芸名由来

- ・藤村志保・・・昭和 37 年の映画「破戒」(島崎藤村原作)でデビューしたが、その映画の原作者名から「藤村」、役名から「志保」とした。
- ・松島トモ子・・・本名「松島奉子」(子役デビューする時に芸名をカタカナ表記にした)昭和 20 年 7 月満洲奉天生まれ、生誕当時、父親が三井物産奉天支店に勤務しており、物産の社長が奉天生まれということで「奉子」と名付けた。敗戦後、父親はシベリヤ抑留、ほどなく病死した。
- ・夏木マリ・・・「夏！キマリ」から
- ・木の実ナナ・・・歌だけでなく、踊りも芝居もできる人になってほしいという思いを込め、漢字、ひらがな、カタカナの 3 つが揃った名前を考えた。
- ・浅丘ルリ子・・・昭和 30 年「緑はるかに」(読売の新聞小説)の映画化に伴い、ヒロインを公募、約 3000 人の中から選ばれた(当時中学 3 年生)、その映画のヒロイン名から「浅丘ルリ子」とした。
- ・泉ピン子・・・父親から「芸人はピンからキリまでいるから、どうせなら一番(ピン)を目指せ」と言われたことから改名(当初の芸名は三門マリ子)
- ・黒木瞳・・・宝塚でデビューする際に同郷出身の作家・五木寛之が命名(福岡県八女市黒木町の出身、地名は「くろぎまち」)





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

### 戦前(昭和9年、13年)の東大生が尊敬する偉人ベスト10(興味ある資料です。以下は個人的感想)

・外国人でアメリカ人(リンカーンやワシントンなど)が入っていないくて、ドイツ人が多いのは当時のドイツに対して「科学」「文学」などの分野で日本の知識階級が強い憧れを抱いていた。

・昭和13年調査に「ヒトラー」が入っているのは、敗戦の傷跡から一気に景気を回復させ、昭和11年のベルリン五輪を成功させたこと等による。ヒトラーの人種差別は当時からあったものの、メディアではほとんど表面化していなかった。

・昭和9年の調査で東郷平八郎が入っているのは、この年に東郷が亡くなり、盛大な国葬が執り行われたことで一時的に人気が高まった。

・戦前の尊敬する日本人のベストスリーは、西郷隆盛、吉田松陰、乃木希典の3人。

・坂本龍馬に対する戦前の評価はそれほど高くなかった。彼の評価が高まったのは、昭和37年から司馬遼太郎による「竜馬がゆく」が産経新聞に連載されて以降である。

昭和九年 (対象学生数 5402人)			投票数
1位	西郷隆盛	維新の志士 (軍人、政治家)	255 (A)
2位	ゲーテ	ドイツの詩人、劇作家	132
3位	イエス・キリスト	預言者、神の子	105
4位	東郷平八郎	明治時代の軍人 (元帥海軍大将)	99
5位	釈迦	仏教の開祖、ブッダ	93
6位	吉田松陰	維新の志士 (思想家、教育者)	90
7位	カント	ドイツの哲学者、思想家	85
8位	乃木希典	明治時代の軍人 (陸軍大将)	62
9位	日蓮	日蓮宗の宗祖	62
10位	野口英世	細菌学者	58

  

昭和十三年 (対象学生数 5433人)			投票数
1位	西郷隆盛	維新の志士 (軍人、政治家)	262 (A)
2位	吉田松陰	維新の志士 (思想家、教育者)	102
3位	ゲーテ	ドイツの詩人、劇作家	99
4位	乃木希典	明治時代の軍人 (陸軍大将)	88
5位	楠木正成	鎌倉時代末期の武将	71
6位	野口英世	細菌学者	59
7位	寺田寅彦	物理学者、陸軍家、俳人	51
8位	ヒトラー	ドイツの政治家 (ナチス・ドイツ総統)	47
9位	パスツール	フランスの細菌学者	39
10位	ベートーヴェン	ドイツの作曲家	37

昭和九年及び昭和十三年の調査/東大(東京帝国大学)で実施

### 三島由紀夫が号泣した英霊の遺書

三島由紀夫は自決(昭和45年11月25日)に先立つ1か月前、江田島にある海上自衛隊第一術科学校の教育参考館を訪れた。全国から寄せられた戦没者の遺書の中から手に取った一通の遺書を読み終えた三島は声を出して泣いた。

それは昭和20年5月11日神雷部隊攻撃隊指揮官として特攻出撃し、南西諸島で二艦撃沈の成果を挙げて沖縄の海に散華した古谷真二少佐(当時は海軍中尉、享年23)の残した遺書だ(遺書は自宅の文箱に残されていた)。

三島由紀夫はこの遺書を読んで「すごい名文だ。命がかかっているのだからかなわない。俺は命をかけて書いていない」と言って号泣したのである。

以下、古谷真二の遺書全文



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

皇国の一男子として生を享けて以来二十有余年、国を挙げての聖戦に勇躍征く事を得ば男子の本懐、正に之に過ぐるものなし。

ものごころついて以来自分乍ら世才に長ぜりと感じ、幼友矢島君の男々しき武人姿を見るにつけ所詮 身は軍人となれぬとは思ひ諦め居たるも、長じて茲に征途につくを得ば身を鴻毛の軽きにおき勇みて征かんの心激しからざるはなし。

過去二十何年かの間、陰に陽に愛しまれたる御両親の恩、甚だ深くして浅学非才なる小生にしては御礼の言葉も見当らず。その深遠広大なるに対し、深く深く厚く厚く御礼申し上げるものなり。御両親はもとより小生が大なる武勇を為すより身体を毀傷せずして無事帰還の誉を擔はんこと、朝な夕なに神佛に懇願すべくは之親子の情にして当然也。

不肖自分としても亦、身を安んじ健康に留意し、目出度く帰還の後孝養を盡したきは念願なれども蓋し時局は総てを超越せる如く重大にして徒に一命を計らん事を望むを許されざる現状にあり。大君に対し奉り忠義の誠を至さんことこそ正にそれ孝なりと決し、すべて一身上の事を忘れ、後顧の憂なく干戈を執らんの覚悟なり。

### 多士濟濟(たしさいさい or たしせいせい)

多士濟濟は、中国最古の詩篇である「詩経」の中にある言葉。「多士」は多くの優れた人材、「濟濟」は数多く盛んな様子ことから、優れた人が多い様子を意味する。本来の読みは「たしせいせい」であるが、いつの頃からか「たしさいさい」と誤読されるようになり、今では慣用読みとして定着している。

ただ、NHK では元々の読みである「たしせいせい」を使っている(NHK 放送文化研究所)。また、国語辞典の多くは「たしせいせい」を主見出しとしながらも「たしさいさい」の読みも掲載している。

(追記)熊本市に「済々黌高校(せいせいこうこう)」という県立高校がある。川上哲治が一時期在籍していた学校として知られており、この高校の存在を知っている人は「多士濟濟」を「たしせいせい」と読むのではなかろうか。

### 「亡命」はどうしてこんな字なのか？

「命」を「亡くす」と書いて「亡命」。政治上の理由で本国を抜け出し他国に逃亡するという意味だが、どうしてこんな字を書くのだろうか？

この場合の「亡」は困いを隠すさまを示す文字であり、「あったものが姿を消す」という意味。また「命」は生命ではなく「戸籍」を意味する。戸籍から抜け、姿を消すから「亡命」である。

なお、亡命は英語では「exile」という。